第１回山科駅前遊びと学びの拠点複合施設（仮称）
整備・運営事業検討委員会 開催結果

１　日　時　令和８年１０月９日（金）午後３時～

２　場　所　京都市生涯学習総合センター山科（アスニー山科）実習室

３　出席者

＜選定委員会委員＞五十音順

川瀬　綾子	立命館大学文学部	准教授
岸本　嘉彦	大阪公立大学大学院工学研究科	准教授
栗本　雅彦	安朱学区自治連合会	会長
阪本　崇	京都橘大学経済学部	教授
佐川　早季子	京都教育大学幼児教育科	准教授
千葉　久美	市民公募委員	
日浦　有里子	税理士	
森　千彩	市民公募委員	

４　傍聴者

一般　６人

記者　３人

５　議題

⑴　委員長の選任【公開】

⑵　事業の説明【公開】

６　内容

⑴　委員長・委員長代理の選出【公開】

委員の互選により、岸本委員が委員長に選任された。

⑵　事業の説明について【公開】

①元ラクト健康文化館について

（委員からの主な意見）

次回の検討委員会では、既存の設備の状況（空調は新設する等）について、その理由も含めて御用意いただきたい。

②山科駅前遊びと学びの拠点について

（委員からの主な意見）

・　資料９ページに「静かで穏やかなエリア」と、「にぎやかで動きのあるエリア」のグラデーションが記載されているが、その中の「出番がある」とは具体的にはどういうことを想定しているか、お伺いしたい。

⇒（事務局）

自主事業では、運営事業者が定期的にイベント等を開催することを考えている。例えば、市民による講演等、地域と連携した学びの場の提供を通して、市民の社会的「出番」つまり活躍できる場を提供することを想定している。

・　同じく資料９ページの遊びエリアにある「育児相談機能」については市の直営なのか指定管理者が実施するのか、お伺いしたい。

⇒（事務局）

育児相談機能は指定管理者が実施することを想定している。

・　本施設は全国で初めて作られるわけではないと思料する。次回の検討委員会では、先行事例から何を学んでいるのか教えていただきたい。

③検討委員会について

（委員からの主な意見）

・　要求水準書が非常に重要になる。

・　ＰＦＩ方式やＤＢＯ方式は性能発注が一番大事であるが、今回の施設については、性能発注の表現が非常に難しいと思料する。次回の委員会では、類似事例について、どのような記載であれば、どの程度の性能が発揮できるのかなどが分かる資料を御用意いただきたい。

・　次回の検討委員会においては、事業者公募の入札説明書と密接に関連する要求水準書などについて御議論を行っていただくこととなるため、次回は非公開での開催になると考えるが、いかがか。

⇒（異議なし）

以上